

# 飯能高校 図書館報

## 第130号

2025年3月3日  
飯能高校 図書委員会

### 先生方に推薦していただいた本

#### 『笑わない数学』

NHK「笑わない数学」制作班 著

校長 矢島得充

数学って、難しくて面白くないと思っ  
ていませんか？ 実は、数学の世界には、  
驚くほど面白くて魅力的な物語が隠され  
ています！ かく言う私も数学の教員  
であります。そんな数学の魅力を、誰で  
も楽しめるように解説したのが、「笑わ  
ない数学」です。これは、NHK総合テ

レビで放送された番組を書籍化したもの  
です。

この本では、教科書で習うような難し  
い公式や計算だけでなく、数学の考え方  
や歴史、そして数学者たちのドラマが、  
まるで小説を読んでいるかのように語ら  
れます。例えば、「無限」という概念。  
これは、古代ギリシャの哲学者ゼノンが  
提唱した「アキレスと亀のパラドックス」  
で有名な話です。アキレスは、亀よりも  
速く走ることができます。しかし、亀が  
先にスタートを切れば、アキレスは永遠  
に亀に追いつけないというのです。なぜ  
なら、アキレスが亀のいた場所にたどり  
着いたとき、亀は少しだけ先へ進んでし  
まうからです。この一見矛盾するような  
考え方は、数学者たちを何世紀にもわたっ  
て悩ませてきました。そして、その謎を  
解くために、無限の概念が生まれました。  
本書では、このように、一見難しそう  
に見える数学の概念が、どのようにして  
生まれたのか、その背景にある歴史や思  
想、そして人々の知恵を、わかりやすく、  
そして面白く解説していきます。数学が  
苦手な人でも、きつと楽しく読み進めら  
れるはずです。ぜひ、手に取ってみてく  
ださい！

#### 『夢をかなえるゾウ1』

水野敬也 著  
教頭 發智祐助

この物語は、さえないサラリーマンの  
前に、ゾウの姿をした神様ガネーシャが  
現れ、夢を叶えるための課題を与えてい  
くという奇想天外な設定です。ガネーシャ  
は、ユーモラスな関西弁を操り、時には  
だらしのない面も見せる神様ですが、その  
言葉には夢を叶えるための深い知恵が隠  
されています。私たちは、日々の忙しさに  
追われ、本当に大切なものを見失いが  
ちです。夢を追いかけることの難しさや、  
現実とのギャップに悩み、諦めてしま  
うこともあるかもしれせん。

「夢を叶えるゾウ」は、そんな私たち  
に「もう一度、夢に向き合ってみよう」  
という勇気をくれます。ガネーシャが教  
えてくれる課題は、日常の中で少し意識  
を変えるだけで、誰にでもできることば  
かりです。でも、その小さな一歩が、夢  
を叶えるためには不可欠なのだを教えて  
くれます。

この本を読むと、夢に対するモチベー  
ションが上がります。自分の可能性を信じる  
ことができます。ぜひ一度、ガネーシャ  
と一緒に夢を叶える旅に出てみてくださ  
い。あなたの人生を豊かにしてくれる、  
特別な一冊になるはずです。



## 生徒が薦めるこの一冊

『カラフル』

森絵都 著  
三年二組 黒木真奈

私が紹介する「カラフル」という本は、出版から20年以上経過した今でも色あせることのないファンタジーとヒューマンドラマが融合した作品です。この物語は、死んだはずの「ぼく」が天界業界の抽選に当たり、生まれ変わるチャンスを得るところから始まります。ぼくは、服薬自殺を試みた小林真という少年にホームステイすることになります。彼の家族は、気遣いのできる母、息子思いの父、無口な兄という暖かい存在です。「どうして真は自ら命を絶つ選択をしたのだろうか？」という疑問が浮かびます。

私がこの作品に出会ったのは中学生の頃でしたが、その後高校生になって再読した際には、捉え方が大きく変わりました。「生きる意味」や「自分らしさ」について改めて考えさせられる内容です。様々な登場人物の視点から物語を楽しむことも、またひとつの魅力です。

『犬と私の10の約束』

川口晴 著  
三年四組 内藤友里

ペットを飼っている人でペットとの約束を作ったことはありませんか？もし作っていたら、ちゃんと守ることはできていますか？そこで私がおすすする本は、「犬と私の10の約束」です。この本は、あかりちゃんがゴールデンレトリバーを飼うときにあかりちゃんとお母さんと犬との間で飼っていくうえで大切な約束を決め、約束事を通して乗り越えていくお話です。

このゴールデンレトリバーは、足の色が途中から白くなっているので『ソックス』と名付けられました。ソックスが子犬の頃から亡くなってしまうときまでの一生を描いてあり、その時々二人の間などで起こった悩みや困難、喧嘩などがあり、ソックスとの心の距離が離れてしまいそうなときに約束を思い出し、乗り越えてお互いに成長していきます。もし少しでも面白そうだな、気になると思ったら、一度手にとって読んでみてください！

『生きるぼくら』

原田マハ 著  
二年三組 内藤まりあ

私が紹介する『生きるぼくら』は、引きこもりとなった二十四歳の麻生人生が主人公の物語です。ある日彼は、祖母の名前が書かれた一枚の年賀状を手にします。それをきっかけに、彼は人の温もりに触れ、やがて米作りを通して、家族の大切さ、食のありがたさを知っていきまします。この作品の印象的ところは麻生人生のセリフです。祖母から昔ながらの米作りを学んだ彼はこう言います。「変わっちゃだめなわけがない。むしろ、俺らは、どんどん変わっていくかなくちゃならないんだ。この稲のように、空に向かって伸びて、花を咲かせ、実を結ぶ。季節とともに変わり、成長していきけるはずなんだ」

私たちが普段食べているお米は、多くの人の手によって作られています。そして、それは私たちに生きる力を与えてくれます。この作品に出てくるおにぎりはとてもおいしそうで、読み終えた後には必ずお腹が空くでしょう。とても面白い作品です。ぜひ読んでみてください。

『優しい死神は、君のための嘘をつく』

望月くらげ 著  
二年三組 岡野心結

この本は「はじめまして、僕は死神です。君の魂をもらいに来ました。」そんなセリフから始まる決して結ばれることのない、切ないけれど暖かくて優しい、余命僅かな少女と死神の青春ストーリーの作品です。

私がこの作品で魅力を感じる点は二つあり、まず一つ目は、毎日を大切に生きようと改めて思わせてくれるようなところだと思いました。二つ目として、健康でいられることを感謝できるようなところ。この作品は第2回カクヨムweb小説コンテストで恋愛部門〈特別賞〉を受賞しました。また、この小説は漫画風の表現もあり読みやすいため小説を読むのが苦手な人でも読みやすい本です。

さらにこの作品の他にも、「この世界で、君と二度目の恋をする」や「この空の下で、何度でも君を好きになる」などの作品があるので一人でも多くの人が手に取って読んでいただけると幸いです。

『見てはいけない本』

中村まさみ 著  
一年一組 仁田原唯里

この本は五分ごとに様々な怪奇現象が起こり、ミステリー要素などが含まれた作品です。この本の中には思わず目を背けたくなるような惨状や、そのような表現がされている箇所が出てきます。読手の年齢によってはつらい表現をしているが、それを隠しても現実が変わらないこと、純然たる人の死、人の心、人の道を描くためにこういった言葉を使い、ただ怖いだけではなく自分達が目を背けている親による子殺し、子による親殺し、無差別殺人親や身内による虐待死など普段どこかで起きてる出来事、自分は関係ない、ただの他人だ、と言いつつ、現実から目を背けている出来事などを使った五分間の怪談。怪しい話、不思議なお話、悲しいお話など様々なお話が35話でまとまっています。五分間で読めるので、本を読むのが苦手な人や飽き性の人でも五分間ごとに全く異なるお話が読めるのでぜひ手に取ってみてください。

『TRUMP』

はまぐり 著  
一年二組 金子緋奈

この本は、「繭期」人間で例えると思春期のことで繭期になるとクランという吸血種社会に出るまでの間、衣食住を共にして知識と教養を身につけるための場所。主人公二人がともに困難を乗り越えていくストーリーです。

主人公の一人ソフィがクランに来てダンピール（人間と吸血種の混血、先天的な疾患を抱えていることが多く短命。）だからと皆が避けたり、罵ったりされているが一人ウルという少年が話しかけてきます。それからというものがあれば話しかけてきたり、無くて話しかけてきたり、それを見ていた周りが話しかけて行くウルを「お前は上級貴族なんだから」と止めます。ですがウルは、その扱いが気に入らなく何故話してはいけないのかと問いその場から去ります。

このようにしてウルとソフィが出会い、彼らの友情やその周りの吸血種たちが今後どうなっていくのかはこの本を取って確かめてみてください。



『愚者の街』

ロス・トーマス著  
松本剛史訳  
一年六組 堂園侑我

自分はまだ本を読まない中ですが面白いなと思ったのでこの度、紹介をしようと思いましたが。愚者の街という本を簡単に説明すると、主人公が何者かによって暗くなった街を元に取り戻すためにいろんな計画を進めていきます。しかしその途中にたくさんの事件などが起きてきて主人公の勇気が見れる物語となっています。

この物語で一番魅力だと感じる部分は、話に出てくる主人公とその仲間と一緒に計画を進めていく掛け合いなどが魅力であり、見どころであると思います。この本の話は読み始めてからだんだん面白くなっていくので読んでいる側はすごくワクワクしていきます。そしてこの作品は、海外で出版されていてすごく面白いので読んでいただけたら嬉しいです。

この本の著者であるロス・トーマスさんの本は他にもたくさんあってそれも面白いので読んでいただけたら嬉しいです。

『星の王子さま』

サンテグジュペリ 著  
(邦訳多数あり)  
一年七組 秋山愛理

この本は、砂漠に不時着した「僕」が、小さな星から来た「星の王子さま」と出会い、王子さまは、自分の星で大切に育てたバラとの関係に悩み、答えを探すために旅に出る物語です。

この作品の魅力は、彼がさまざまな星を巡り、権力を誇示する王様や名声にこだわる男など、大人たちの奇妙な価値観に触れながら、地球へとたどり着くところです。地球で王子さまは、キツネとの交流を通じて「本当に大切なものは目に見えない」と学びます。そして、自分のバラが唯一無二の存在であることに気づき、最後に王子さまは、自らの星へ帰る決意をし、「僕」に別れを告げます。

シンプルな言葉で語られるこの物語は、人生や愛、友情の本質を深く問いかける、子どもだけでなく、大人にこそ読んでほしい永遠の名作です。ぜひこの本を手にとってほしいです。

『コンビニ人間』

村田沙耶香 著  
一年七組 大野礼美菜

コンビニでアルバイトとして働く女性「古倉」が、まわりの店員や家族、友人、コンビニを訪れる客たちとの交流、そして突如として表れた現代社会に異を唱える男性「白羽」との出会いを通して、「普通」を見つめていく作品です。

私が読んでいて共感した部分は、主人公がコンビニ店員であることで、自分を正常な人間と思えると考えているところです。私も人は何かしらの役割を持つことで人間として生きれるのではないかと思っているのですが、私も今は「高校生」としての自分を生きているのかもしれないと読んでいて思いました。私はこの本から「普通」とは何なのか、社会で生きていくうえで自分の「役割」とは何なのかを考えさせられました。

この本は芥川賞を受賞した著者の実体験に基づき書かれているので、コンビニでアルバイトをしている人にはきつと共感できる部分があるのではないかと思えます。また、生きることについて考えたときにはこの本を読んでほしいです。

## 『時給三〇〇円の死神』

藤まる 著

一年八組 大館楓奈

この本は、冴えない主人公が時給300円で死神のバイトをすることになり、さまざまな人と関わりながら成長していく物語です。

死神の仕事は、成仏できずにこの世に残る「死者」の未練をはらし、あの世へと見送ること。ですが、依頼人たちはみんな未練があり、すぐに死を受け入れられない人や、やり残したことがある人、大切な人に最後の言葉を伝えたい人など、いろいろなさ事情を抱えています。最初は面倒くさそうに仕事をしていた主人公も、死者と関わるうちに相手の気持ちに寄り添うようになり、少しずつ考え方が変わっていきます。

この物語には、笑える場面もあれば、泣けるような場面もあります。死をテーマにしているけれど、暗くなりすぎず、温かい気持ちになれるのが魅力です。読み終わったあとには、生きることの意味や、大切な人との時間をもっと大事にしようと思えるような、そんな一冊です。

## 『告白』

湊かなえ 著

一年八組 岩瀧歩美

『告白』は、教師と生徒が織りなす衝撃的な復讐劇を描いたミステリー小説です。本作は、語り手が章ごとに変わる独白形式で進行し、それぞれの視点から事件の真相が明らかになっていく構成が特徴的です。倫理観を揺さぶるストーリーと衝撃的な展開で、多くの読者を惹きつけています。

物語の発端は、中学一年生の担任教師・森口悠子の告白です。彼女の幼い娘・愛美が校内のプールで命を落とす、事故として処理されていました。しかし、森口は終業式の日を生徒たちに向かって「これは事故ではなく、教え子の二人に殺されたのだ」と語り出します。彼女が名指しするのは、クラスの問題児である少年Aと少年B。森口は、法律では裁けない二人に対して独自の方法で復讐を遂げることを宣言し、静かに教壇を去ります。

その後の章では、加害生徒や彼らの家族、同級生の視点から事件が語られてい

きます。少年Aは、極度に優秀だが母親の愛を得られずに歪んだ価値観を持ち、殺人をゲームのように考える冷酷な少年。一方の少年Bは、承認欲求が強く、少年Aに操られる形で事件に関与してしまつた心の弱い少年です。物語が進むにつれて、二人がどのようにして犯行に及んだかが明かされ、彼らの心の闇が徐々に浮かび上がります。また、彼らの家族やクラスメイトの証言から、事件の背景やそれぞれの心理状態が浮かび上がり、読者の価値観を揺さぶるような展開が次々と繰り広げられます。

登場人物たちは皆、独自の苦しみを抱えており、一概に善悪を判断することが難しくなっていくのが本作の魅力の一つです。そして、ラストには森口の計画が最終段階に入り、読者に衝撃を与える結末が待ち受けています。

『告白』は、単なる復讐劇ではなく、人間の心理や社会問題を深く抉る作品です。巧妙なストーリーテリングと独白形式が生み出す緊張感により、一気に引き込まれること間違いなしの一冊です。



# わたしの図書館自慢

『みんなの居場所』

「図書委員長」 三年六組 佐々木莉音

一番の魅力は、本だけではなく漫画やゲーム、こたつ、ハンモック、勉強スペースなどがあると嬉しいです。本が好きの人だけでなく、誰でも図書室を利用しやすい環境が揃っています。人それぞれが好きなきことを楽しむことができ、きっと自分のお気に入りの場所が見つかるでしょう！一人でも友達と一緒に、ぜひ一度行ってみることをお勧めします！

『図書館の素敵なお知らせ』

「図書副委員長」 三年四組 内藤友里

私が思う素敵なお知らせは、どんな人でも使いやすいところだと思います。遊べる場所、こたつやカフェスペースでくつろげる場所、本だけでなく漫画や雑誌も沢山の種類があると嬉しい空間になっていくので、ぜひ来てみてください！

『急募…ヨギボーから溢れ出る魔力に抗える勇者』

「図書副委員長」 二年一組 矢川亜瑚

私のお気に入りの場所は、ヨギボーです。飾りつきのないシンプルなデザイン、もつちりとした感触、滑らかな肌触り、無害そうな顔をしながらも、一度腰掛けると二度と動けなくなるという効果を持つ特級レベルの魔具がこの図書館には導入されています。進学クラスを作るほど勉強に力を入れ始めているこの高校に、こんな人を堕落させるブツを置いてほしいのかとも思いますが、置いてあるものはしょうがありません。誰かに取られてしまう前に、皆さんもぜひ使ってみてください。

『図書館のいいところ』

「図書副委員長」 一年二組 田中権司

すみっこ図書館のいいところは本だけではなく、漫画や雑誌などがあるところだと思います。漫画や雑誌は絵があるので文字が多くてやだなんて思う人は漫画や雑誌から読んでみたらいいと思います。あと定期検査前は勉強の空間として使えるのでとても便利です。

『大好きな図書館』

「図書委員書記」 三年三組 藤谷由梨花

すみっこ図書館には本、漫画、ゲーム、ハンモック、ヨギボーがあり、一人でも複数人でも楽しく過ごせる場所です。ブルーのスペースにはゲーミングチェア、仕切りで区切られた机、周りは参考書ばかりなので気が散ることなく勉強できます。冬にはこたつで勉強するととても捗ります。他の図書館にはない魅力がすみっこ図書館にはあります。一度でもいいので図書館にきて自分の目で見てみてください。きっとお気に入りの場所になるでしょう。

『僕が思う図書館のおすすめな場所』

「図書委員書記」 一年二組 春田未来

僕が思う飯能高校の図書館の魅力は、漫画の種類が豊富で、自分が読みたい漫画を借りて読めることです。最近の漫画も置いてあるところがいいところだと思います。もう一つの魅力は自習室が整っていることです。テスト期間が近くになると集中して勉強することができます。このような設備があるのは、飯能高校の図書館だけです。

### 蔵書統計 (寄贈を含む(雑誌・教科書はその他に含む) 4/1~2/25までの受入分)

2024年	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	その他	合計
冊数 (冊)	79	29	124	274	72	82	44	230	36	167	188	1,325
割合 (%)	6.0	2.2	9.4	20.7	5.4	6.2	3.3	17.4	2.7	12.6	14.2	100.0
すべて	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	その他	合計
冊数 (冊)	1,371	1,400	4,347	4,448	2,840	1,809	672	7,146	1,149	11,836	841	37,859
割合 (%)	3.6	3.7	11.5	11.7	7.5	4.8	1.8	18.9	3.0	31.3	2.2	100.0

### 2024年度貸出統計 (4/1~2/25までの貸出分)

2024年	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	その他	合計
1年	38	38	27	39	27	15	3	337	2	86	1	608
2年	6	12	15	92	34	3	1	39	21	8	2	233
3年	7	5	18	67	16	1	4	38	8	16	0	180
教職員	4	11	35	72	16	14	6	302	13	166	11	650
合計	45	66	95	270	93	33	19	716	44	276	14	1,671

### 2024年度ベストリーディング (4/1~2/25までに最も借りられた本)

区分	順位	書名	著者
生徒	第1位	「百合に挟まれてる女って、罪ですか？」	みかみてれん
	第2位	「チェンソーマン 5」ほか	藤本タツキ
	第3位	「変な家」ほか	雨穴
教職員	第1位	「成瀬は天下を取りに行く」ほか	宮島未奈



## 2024年度飯高図書館三大ニュース

- 1位 Library of the Year 2024 実行委員会特別賞を受賞する  
学校図書館単独での受賞は極めて異例の快挙。すみっコ図書館の存在を全国に轟かせた。
- 2位 年間見学受入回数が図書館史上最多記録を更新  
県内外から1年間で60回以上の見学を受け入れ、歴代最多回数34回を大幅に更新した。
- 3位 すみっコ図書館生みの親、湯川司書が退職  
惜しまれつつ引退と言われながら、生徒はお菓子が貰えなくなるのが辛いだけらしい。

## 2024年度図書館この一年の動き

月	主なできごと	月	主なできごと
4月	(5月7日) ウィキペディアンの海獺(らっこ)さんが飯能高校で特別授業を実施。	10月	Library of the Year 2024 実行委員会特別賞を受賞。
5月	図書館総合展サテライト見学ツアーを実施。(見学者24名)	11月	図書館一般公開を2日間実施。(見学者計95名)
6月	図書委員研修交流会(所沢市中央公民館)5名参加。	12月	(11月14日)朝日新聞朝刊埼玉版(19面)にすみっコ図書館の記事が掲載される。
7月		1月	東京新聞29日朝刊(24面)にすみっコ図書館の記事が掲載される。
8月	学校図書館問題研究会全国大会のオプションツアーとして1日図書館公開。参加者約20名。	2月	(1月31日)図書館内で大プラレール祭りを開催。
9月	文化祭2日目一般公開日。図書館でビブリオバトルを開催。	3月	図書館一般公開を実施。(見学者50名以上) 湯川司書退職。

### 図書館サポーター大募集中!

すみっコ図書館では、図書館司書の仕事を手伝ってくれる図書館サポーターを募集しています。放課後の時間が空いているときに図書館に来て司書の仕事を手伝うとご褒美がたくさんもらえます。



#### 【図書館サポーター1年3組 志賀桜子さんからのメッセージ】

私がすみっコ図書館で良いなと思うところは、様々なジャンルの本が難しめのものから誰でも読みやすいものまでたくさんあるところです。また、図書館でゆっくりしてみたいけどあまり文字が多いものは読みたくない、興味がないなどというときに人気の漫画を読めるのもいいと思います。